

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

「日本人移民」を考える。

■ 特別研究室企画展示 ■
**「内田嘉吉文庫に見る日本人移民の歴史
 ～ハワイ移民130年の節目に考える海外移民政策～」**

今年は日本とハワイの政府間の合意により、日本人最初の官約移民が行われてからちょうど130年にあたります。そこで特別研究室では、内田嘉吉文庫で所蔵する海外移民に関する資料を展示し、明治～戦前にかけて政財官界で論じられた日本人の海外移民政策の歴史を紹介します。また、千代田区立図書館で所蔵する現代の移民関連図書もあわせて展示します。

■ 会期
7月21日(火)～9月27日(日) ■ 会場:4階 特別研究室
 ■ 平日10:00～20:00 土曜10:00～18:00 日・祝10:00～16:00
 ■ 入場無料 ■ 連携先:JICA横浜 海外移住資料館

- 【展示構成】
- 明治～昭和初期における日本人の海外移民について
 『国民海外発展策』(1914年) 『移民調査報告』(1908年)
 『アマゾン河流域植民計画二関スル調査報告』(1927年) など
 - ハワイ・北米への移住(7月21日～8月16日)
 『日布時事布哇年鑑 昭和二年』(1927年)
 『National Geographic Magazine』(1924年2月号) など
 - ブラジル・南米への移住(8月18日～9月27日)
 『アマゾン流域の話』(1927年) 『南米一巡』(1921年) など
 - 現代の移民に関する図書



▲日本国総領事館(ホノルル、ヌアヌ・アヴェニュー、1887年) 写真提供:ハワイ報知(「日本人移民1 ハワイ・北米大陸」藤崎康夫編 日本図書センター 1997年より) ポーチには初代総領事安藤太郎と夫人の姿がみえる。

■ 古書で紐解く近現代史セミナー 第14回
「日本人移民の歴史と日系人の現在」
 講師:小嶋 茂(JICA横浜 海外移住資料館 学芸担当)
 1908年(明治41年)4月28日、神戸港を出港した笠戸丸で第1回契約移民781名がブラジル・サントスへと向かいました。それから百余年にわたる日本人の南米移住の苦難や成功の歴史を、彼らの子孫である現在の日系人の姿に結び付けてお話しします。

■ 日時:8月27日(木) 19:00～20:30 (18:30より受付)
 ■ 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■ 定員:60名
 ■ 参加費:1000円(千代田区民 500円)

calendar 開館時間:平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2015年 8月							2015年 9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
30	31												



お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館
 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340
 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp

Service News サービス・ニュース

「専門図書館への入口講座」が始まります!

特定のテーマについての調べものに便利な「専門図書館」。関係者以外には使えないのでは?専門の資格がないと入っちゃダメ?そんなことはありません!広く公開されている専門図書館もたくさんあります。3階グリーンゾーン奥「ライブラリープラス」にて専門図書館について学ぶ講座が始まります。さまざまな専門図書館の方に講師としてお越しいただき、所蔵資料や効果的な使い方など、専門分野の情報収集の方法についてご紹介いただきます。

■ 場所:ライブラリープラス(3階 グリーンゾーン奥)
 ■ 定員:10名 参加費:無料
 ※事前申込は不要

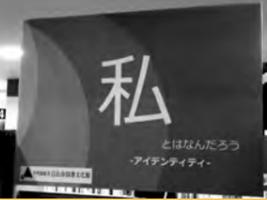
8月の予定
「機械振興協会BICライブラリ」
 8月4日(火) 18:30～19:30
 講師:結城 智里(機械振興協会BICライブラリ調査役)

ZONE PICK UP! 3F グリーンゾーン
 【哲学・歴史・自然科学・技術工学】の本を集めたゾーン

私とはなんだろう —アイデンティティ—

～10/16

クローン技術や人工知能など高度な技術の発見、発明が急速に進む昨今、果たしてその産物にアイデンティティは存在するのでしょうか。また、人々は時代の流れの中で自己や心というものをどうとらえて向き合ってきたのでしょうか。「私」をみつめる時、どんな「私」が自分らしいと感じますか。自分探しのヒントになる展示です。



偉大な先人たちが自己について問い続けてきました。あなたの答えは見つかるでしょうか。

3F ホール ガラスケース

『新選 名著複製全集』
「複製ではなく、複製。」
 公益財団法人日本近代文学館が複製を手掛けた『新選 名著複製全集』より、明治から昭和初期に刊行された詩歌集を展示しています。現在では入手困難な初版本を、紙の材質から製本方法まで徹底して分析し、再現した逸品です。装幀と詩歌、両方をご覧ください。



日比谷カレッジ報告
 『不思議の国のアリス』刊行150周年記念
英語学者とまなぶアリスの教室
 第1回ことを手がかりにキャロルの世界へ
 ■ 講師:安井 泉(筑波大学名誉教授、日本リス・キャロル協会会長)

「不思議の国のアリス」の原文表現を読み解きながら、リス・キャロルの言葉遊びや、ビクトリア朝時代の文化的背景、また階級によって異なるイギリス英語の表現などを、英語学・言語学者である先生が、詳細にわたりお話しされました。少し難しい内容もありましたが、参加者の皆さんはとても熱心に聞き入り、アリスの世界が奥深く広がる講座でした。



わたしの一冊
『ノモンハン戦争 モンゴルと満洲国』
 田中克彦 著

この本は戦争の描写というよりもモンゴルの民族と歴史を描くことにより、何故この戦争が起きたのかが描かれており、当時のモンゴルに興味のある方におすすみます。あとがきに「二〇〇年ほど前、ノモンハン戦争の戦場を訪ねる旅行団の一行に加わって」とある旅行団とは、当時旅行会社にはいた私が企画し添乗したものです。

岩波書店 / 2009年
 言語学とモンゴル学の専門家である著者によるノモンハン戦争史、日本ではこの戦争を何故「事件」と呼ぶのか? 歴史的・地理的条件から説き起こし、その真相を明らかにする。



